

命をつなぐ

Save the Last Lives IX

HISTORY OF ITDA THERAPY DOG 2026

Founder
創始者
大木トオル

ジャーマン・シェパード
「グレース」

秋田犬
「ルーシー」



一般財団法人 国際セラピードッグ協会®
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION

一般社団法人 大木動物愛護協会®
OKI AWA : OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

Save the



Last Lives

命をつなぐ

殺処分ゼロの実現へ

命あるもの幸せになる権利がある。

捨て犬から第一号セラピードッグとなった名犬チロリが、
身をもって私たちに遺してくれた熱い思い。

その思いを胸に、私たちの長い闘いは当時65万頭殺処分から、
今6,830頭(令和6年度)というところまでたどり着きました。
あと一歩でこの国から忌まわしい現実をゼロにすることができます。

この国が真の動物愛護国として胸を張っていただけるように。

人間と動物の命のあり方を今一度考え、

幸せに生きていく「共存」を真に考えなければなりません。

私たちはこれからも、全国の愛犬家・愛猫家のみなさまから届く

たくさんのエールと共に、その歩みを続けていきます。

そして、多くのみなさまからのご支援に心から感謝申し上げます。



一般財団法人
国際セラピードッグ協会 創始者

一般社団法人
大木動物愛護協会 創始者

弘前学院大学 客員教授

大木 トオル

New York City
Since 1977



『公民権運動』人種差別と動物愛護に立ち向かう

多民族からなるアメリカ合衆国では、人種差別の問題がいつになっても続いています。しかし、スポーツ、音楽、そして動物愛護はすべての人が一緒になれるのです。



『社会福祉』人間の高齢化と病気、そして心身のケアはどの国も同じです。

音楽家として米国に永住した後、社会福祉をライフワークとしてセラピードッグの育成と高齢者や障がい者へのケアをセラピードッグと共に続けています。



1979年アメリカでセラピードッグの育成をスタート



ニューヨーク州の高齢者施設でのセラピードッグ活動、認知症や歩行のリハビリに貢献する

Help! 殺処分される捨てられた犬猫たち

Rescue from misery and death

1973年の動物愛護管理法成立から半世紀、
日本はいつまでこの惨いことを続けるのでしょうか。

ガス室に送り込まれ殺処分された犬たち。



アウシュヴィッツでガス室により殺されたユダヤ人の残された革靴

ガス室で殺処分された犬達の残された首輪

Photo by 大石成通

殺処分寸前の捨て犬たちの救助

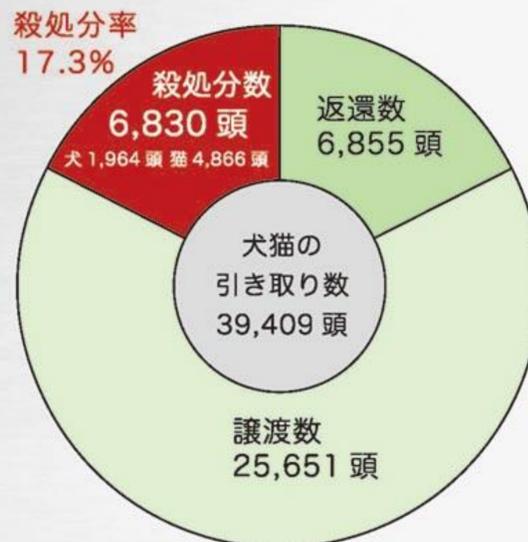
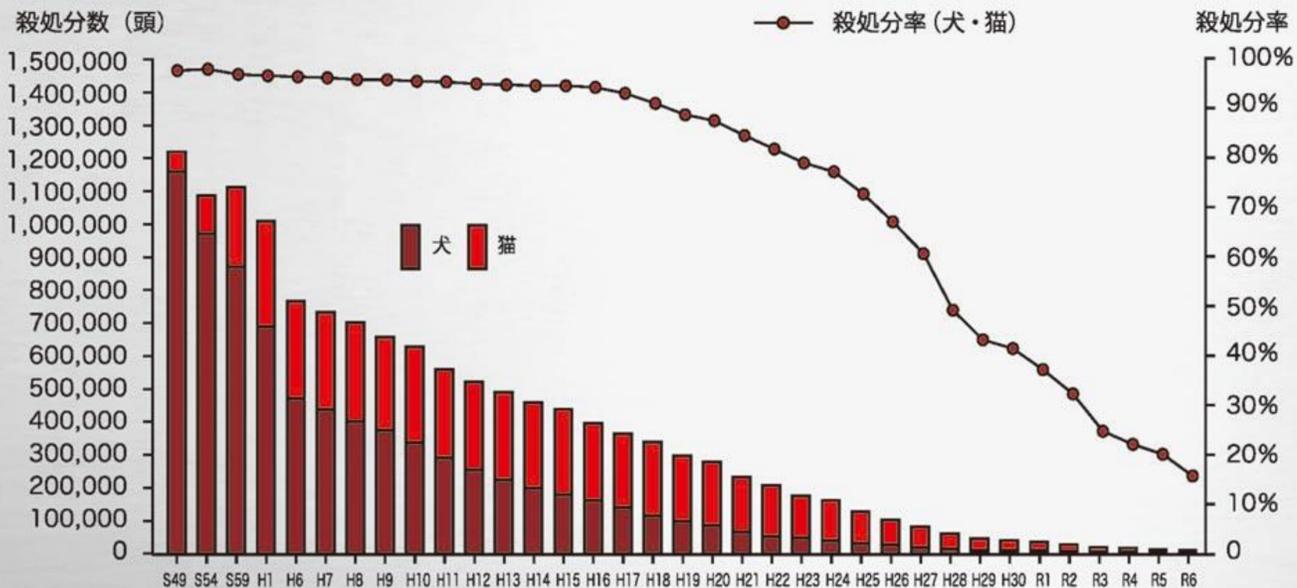
この子達は立派なセラピードッグへと生まれ変わります。

Rescue

Can you look the other way?



全国の犬・猫の殺処分数、殺処分率の推移



環境省 HP 令和6年度 統計資料より

悲願、殺処分数0になる

その日の実現へ。

私たちと全国の愛護団体の活動により、平成13年頃まで軒並み95%以上であった殺処分率は年々大幅に低下し、殺処分される数も減少しつつあります。しかし今だに多くの犬猫が犠牲となっており、令和6年度には、捨て犬・捨て猫のうち、**6,830頭 (殺処分率17.3%)**が殺処分されました。

History of Chirori

名犬チロリの足跡

日本三大名犬
日本初
名誉セラピードッグ第一号



殺処分寸前の救出



ゴミ捨て場に5匹の子犬と共に捨てられていたチロリ。
子犬たちは里親が見つかりましたが、チロリは保健所に捕獲されてしまいました。その後、大木トオル代表によって殺処分寸前で救助されました。
虐待を受けていたのか、左耳は折れ、右足には障がいが残っていました。

人への信頼と笑顔を取り戻し、始めたトレーニング。日本初のセラピードッグに。



通常2年半かかるトレーニングをわずか半年でクリア

チロリは多くの高齢者、障がい者の皆さんに笑顔と生きる勇気を届けました。



チロリが出演する動物愛護特別イベントには、いつも長蛇の列ができました

チロリの闘病 余命3ヶ月の命



2005年12月 チロリ、乳癌を発症。余命3ヶ月の宣告を受ける。懸命な治療を続ける

2006年3月 危篤状態に陥るチロリ

ありがとう、お父さん



チロリ、
最後のアイコンタクト

2006年3月16日 乳癌により永眠(推定16才)

名犬チロリ お別れの会

チロリの功績を称え、全国の行政、福祉施設から31の表彰状、感謝状が授与されました。

お別れの会には全国からたくさんの参列者がお越しになりました。日本橋ロイヤルパークホテルにて

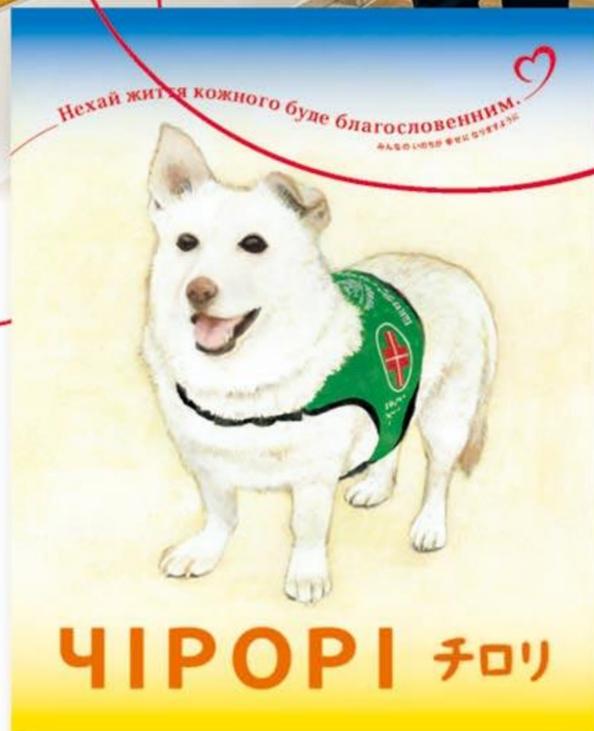


Peace & Love Chirori

絵本チロリ ウクライナへ



大木トオル代表(右)と
セメニューク・オレクサンドル
在日ウクライナ大使(当時)



絵本チロリ [ウクライナ語版] みんなのいのちが幸せになりますように。

大木トオル代表のウクライナの幸せと平和への願いを込め制作されました。ウクライナ語と日本語で翻訳されています。
協力：在日ウクライナ大使館



チロリの絵本は、成田空港からウクライナへ向けて
飛び立ちました。

Нехай життя кожного буде благословенним.
みんなのいのちが幸せになりますように



子供達にアイコンタクトで心のケアを行う
秋田犬セラピードッグ「ルーシー」



戦禍のウクライナから日本へ避難してきた子供達と家族の皆さんへチロリの絵本を寄贈すると共に
セラピードッグたちも参加し笑顔と元気を届けました。在日ウクライナ大使館にて。
(左からセラピードッグ「リリー」「ルーシー」「海斗」「リキ」)



チロリの絵本は、ポーランドとハンガリーを經由し、
陸路でウクライナの孤児院の多くの子供達へ届けられました。
今後もこの活動を続けてまいります。(協力：テラ・ルネッサンス ハンガリー財団)



東日本大震災、福島の被ばくした被災犬の救助

Life Works To Protect

被ばくした被災犬『金次・銀次』の救助



殺処分直前のガス室から救助した『金次』と『銀次』



除染をし、被ばくの数値を下げ、健康を取り戻していく



セラピードッグとして活躍する『銀次』



がんばる幸、むさしをみんなで支える

Life of Therapy Dogs

『幸』



2011年 福島、保護当時

『むさし』



健康を取り戻しセラピードッグとして活躍



2017年、眼病を発症。左目は義眼になりその後右目も失うが、元気に暮らす『幸』



2012年に福島の保健所より救出被災時に片足を失う



セラピードッグとなり、故郷福島の被災者の方々の心のケアにあたった



鼻腔内腺癌を発症し、日本小動物がんセンターで放射線治療を受ける『むさし』

Animal Assisted Therapy

動物介在療法

セラピードッグ『チロリ』と中里さんとの出会いは、障がいを乗り越えて生きる勇気と希望をもたらしました。



チロリとのリハビリにより自分の手でスプーンを持てるようになりました



明るい笑顔を取り戻しました



チロリとのアイコンタクト

セラピードッグ『チロリ』と長谷川さんとの回復症例は、アルツハイマー病への生きる勇気を与えたのです。



チロリとのアイコンタクト



チロリとの行動は要介護5の重度の状況から笑顔、記憶、会話の回復をもたらし、そして車椅子から立ち上がり歩行できるようになる奇跡を生みました。4年半を共に活動した長谷川さんは、「チロちゃん、ありがとう・・・」を最後に何度も繰り返したのです。

～医療的ケア児への活動～ 人々に笑顔と生きる楽しさを

チロリの後を引き継いだセラピードッグたちは、全国で年間延べ12,000名の高齢者、障がい者等の心身のケアにあたっています。

医療的ケア児への活動で、やさしく寄り添うセラピードッグ「リキ」



Memorial Room

セラピードッグたちのメモリアルルーム



殺処分寸前で救出されセラピードッグに生まれ変わった犬たちは、命をかけて人間を救い多大な社会貢献をしました。その勇姿は絵画となり、そして天命を全うした犬たちの遺骨はクリスタルボールに収まり冥福が祈られます。

私の腕の中に抱かれて救助した犬たちはセラピードッグとして立派に活躍した後、最後はもう一度私の腕の中に抱かれて天国へ旅立ちます。 大木トオル





各国を代表する名犬種たちもセラピードッグとなり活動しています。



大木代表の指導を受け、セラピードッグになるためトレーニング(車椅子歩行マナー)を行う「ルーシー」と「グレース」

Training to be a Therapy Dog

セラピードッグになるための教育は、45教科を2年以上かけて学んでいきます。

大木代表が作り上げた教科は、すべて現場からの体験で生まれました。誰かのためにセラピードッグを通して何が出来るか、誠実、忍耐、そして技術を学んでいきます。



教育方針はたくさん褒めて育てていく。喜びと笑顔が絶えることはありません。

人への信頼を取り戻し、誰よりも愛情深く、また教育を受けた犬達は社会貢献する立派な姿に生まれ変わります。

秋田犬「ルーシー」



コロナ禍、生後5ヶ月で捨てられた秋田犬ルーシー (2020年3月)



信頼と愛情を取り戻す「ルーシー」



高齢者のリハビリ歩行のサポートを行うセラピードッグ「ルーシー」

ジャーマン・シェパード「グレース」



多くの子供達へ笑顔と元気を届けるセラピードッグ「グレース」



ドイツと日本の友好親善の架け橋として、大木オール代表の元に来た「グレース」(左)

We are all family

一つとして差別なく人も犬も皆、ファミリーになっていきます。





We are all family!

殺処分寸前で救助し、命をつないだ仲間たち。

国際犬猫保護協会

Therapy Dog Festa 2025

セラピードッグフェスタ 2025 in 日本橋ガレリア (東京中央区・日本橋高島屋)



大木トオル代表、セラピードッグたちが特別出演し大盛況となりました。

(一財)国際セラピードッグ協会は、東京・中央区と共に20年以上にわたり動物愛護とセラピードッグ活動を推進しています。



動物愛護推進のセラピードッグパレードの様子 (日本橋高島屋メイン通りにて)



動物愛護特別イベントに出演したセラピードッグたち (人形町まつり)

Enlightenment & Education

全国への動物愛護特別講演会や動物愛護特別イベント



八王子市 動物愛護特別講演会



大木トオル代表の講演（八王子市主催）には、動物愛護家の皆さんをはじめ行政、福祉、医療、障がい者団体の皆さんが来られました

大木トオル代表（中央）とセラピードッグたち（左からチコ、リキ、リリー、ルーシー）

メーデー中央大会 2025



大木トオル代表と連合 芳野友子会長（中央左）そして毎年メーデーに参加するセラピードッグたち

中央区身体障害者福祉団体連合会 動物愛護特別イベント



山本泰人中央区長（左）と障がい者の皆さんの前でセラピードッグ車椅子歩行マナーを行う様子

動物愛護特別講演会 in 北里大学



教育の現場や、医師及び医療にかかわる人々、動物愛護家への動物愛護啓発活動

全国教育機関、弘前学院大学、慶応義塾大学そして医師会、薬剤師会、病院等で講演を続けています。



名犬チロリの本は長い間、児童書として日本中の子供達に愛されています。チロリを通して全国の子供達へ、命の大切さを伝える講演を続けています



TEDx日本橋への出演

がん研有明病院



医師、がん患者の皆さんへの講演

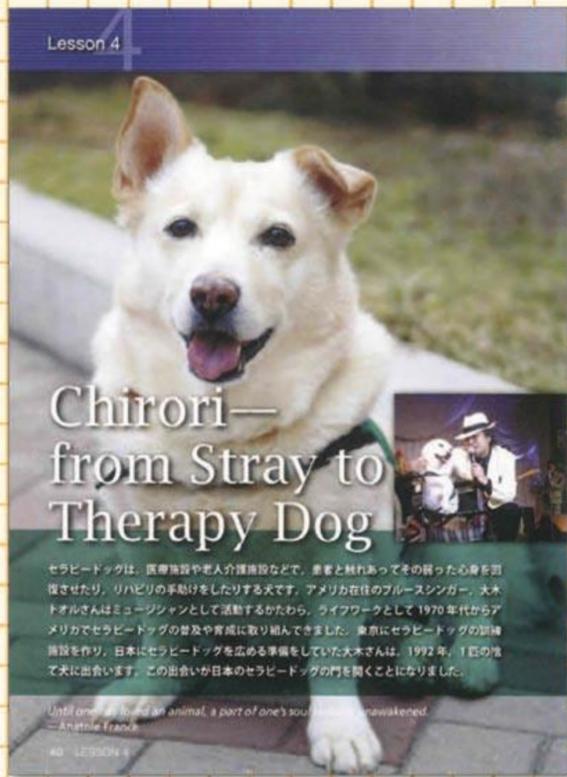


海上自衛隊 動物愛護特別講演会

海上自衛隊員たちへの動物愛護特別講演会。横須賀基地にて。隊員の皆さんへの心のケアでセラピードッグたちの活動が全国へ続けられます。



護衛艦「いずも」飛行甲板にて日本で初めてセラピードッグたちが護衛艦に乘艦し、隊員の皆さんへの心のケアを行いました



Lesson 4

Chirori— from Stray to Therapy Dog

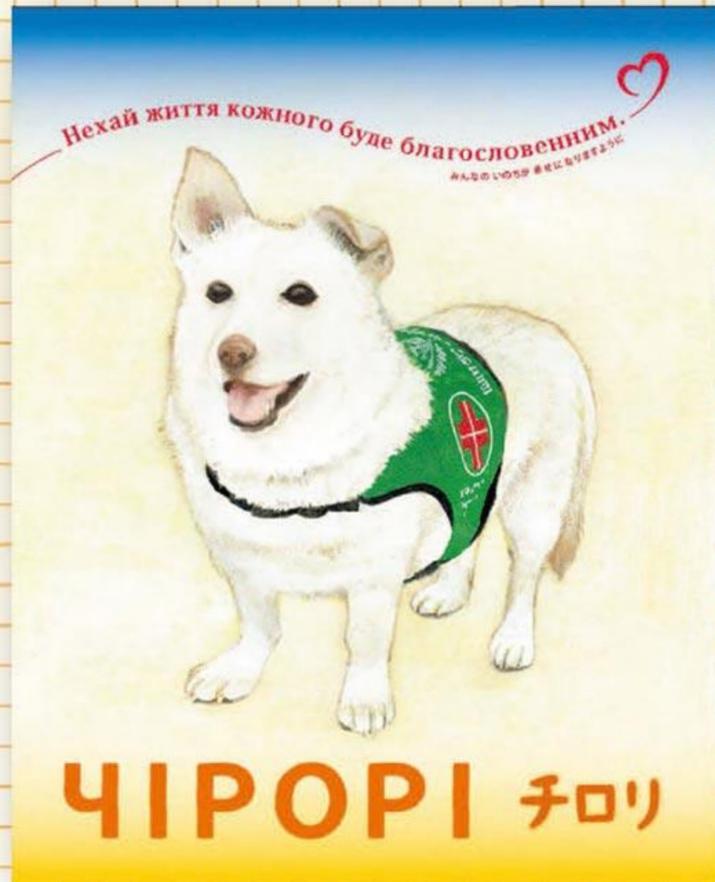
セラピードッグは、医療施設や老人介護施設などで、患者と触れあってその苦悶を慰めたり、リハビリの手助けをしたりする犬です。アメリカ在住のブルースンガー、大木トオルさんはミュージシャンとして活動するかわら、ライフワークとして1970年代からアメリカでセラピードッグの普及や育成に取り組んできました。東京にセラピードッグの訓練施設を作り、日本にセラピードッグを広める準備をしていた大木さんは、1992年、1匹の雄犬に出会います。この出会いが日本のセラピードッグの門を開くことになりました。

Until one has lived an animal, a part of one's soul is unawakened.
—Anatole France

チロリのストーリーが英語の教材として掲載される



成田空港にて、NHKをはじめ多くのメディア取材をうける大木トオル代表



ЧІРОРІ ЧІРОРІ

ウクライナ語訳版『チロリ絵本』

チロリの物語は、世界各国で翻訳され
(英語、ウクライナ語、韓国語 etc...)
世界中の子どもたちに
生きる勇気を届けています。

「セラピードッグ」絵本贈呈

歌手・大木さん 日本避難の子へ



大木トオルさん(中央)から贈られた絵本を手に、犬とふれあう子どもたち(22日、東京都港区の在日ウクライナ大使館で)＝後藤嘉信撮影

ウクライナ侵略 3年半

ロシアによるウクライナ侵略から今年24日で3年半となる。戦禍を逃れて日本で暮らす子どもたちを励まそうと、国際セラピードッグ協会(東京)が22日、東京都内の在日ウクライナ大使館で、人に寄り添うよう訓練を受けた犬「セラピードッグ」と交流するイベントを開き、活躍を描いた絵本を贈った。(染木彩、関連記事2面)

この日は、ウクライナ人家族ら約10人が参加。同協会の創始者でブルースンガーの大木トオルさん(75)が表紙にウクライナ語と日本語で「みんなのいのちが幸せになりますように」と書かれた絵本を手渡し、子どもたちがセラピードッグ4匹とふれ合った。父親と愛犬をキーウに残して2022年4月から、祖母らと千葉県内に避難しているマルガリータさん(6)は、セラピードッグ

Press & Recommend

私たちの活動に、大きな注目が集まっています。

に触ると「柔らかくてきもちいい」と笑顔を見せた。母親(32)は、「早くウクライナに帰りたい気持ち強い」とし、「娘が大好きな犬が題材の絵本なので、日本語の勉強にもなる。今夜は寝る前にこの本と一緒に読みたい」と語った。

大木さんは音楽活動の傍ら、捨て犬の保護やセラピードッグの育成と普及に取り組んできた。絵本は、捨て犬からセラピードッグとなった「チロリ」が活躍する物語で、16年に出版した。ウクライナ大使館の協力を

得て翻訳し、今年6月にはハンガリーの民間団体に委託して、ウクライナ西部の子どもたちに約200冊を贈った。大木さんは「この絵本がウクライナの子どもたちに勇気を届けてくれると信じている」と話している。

ウクライナの子供を元気に



絵本「チロリ」を手に、セラピードッグと触れ合うウクライナ人のマルガリータさん(左)＝東京都港区の在日ウクライナ大使館で8月22日

日本の法人 犬の絵本贈呈

一般財団法人「国際セラピードッグ協会」(東京都中央区)は8月22日、東京都港区の在日ウクライナ大使館で、ロシアによる侵略が続くウクライナから日本に避難した子供たちに、犬を題材に命の大切さを伝える絵本「チロリ」のウクライナ語訳版を贈呈した。ハンガリーのNPO関係者を通じて、戦禍で暮らすウクライナの子供たちにも届ける。協会は計5万部の配布を目標としている。

絵本はA4判の冊子で、殺処分寸前で助けられた捨て犬チロリが「日本初のセラピードッグ」として高齢者や入院患者らに元気を与えた一生が実話に基づいて描かれている。ウクライナ語版の末尾には「戦禍のウクライナの子供たちをはじめ、すべての人が幸せになることを心から願っています」と記された。

この日は絵本贈呈のほか、日本に避難してきた人たちが実際にセラピードッグと触れ合った。ロシアの全面侵攻開始から間もない2022年4月に祖母や母と日本に避難したマルガリータさん(6)は大型犬の頭や首をなでて、「(毛が)やわらかくて気持ちいい。かわいい」と笑顔を見せた。ウクライナの家では2頭の犬を飼っているといい、母アリーナさんは「今日は寝る時にチロリを読み聞かせたい」と話した。

絵本の著者で、国際セラピードッグ協会代表を務める音楽家の大木トオルさんは「(現地の知人から届いた)映像を見て、防空壕に母親と隠れている子供の姿に大変心を痛めた。絵本を通じ、勇気を持てるのではないかと力を込めた。同席した在日ウクライナ大使館のオレクサンドル・セメニューク臨時代理大使は「ウクライナの人々はサポートが必要な状況にある。(チロリの)サポートの物語は非常に大事だ」と謝意を述べた。【浅川大樹(写真も)】



捨て犬たちは、セラピードッグに生まれ変わり、
勇気と元気を届けています。



「ご寄付へのご協力方法」

みなさまからのご寄付は、捨て犬たちの医療費とセラピードッグ育成のために大切に
使わせていただきます。温かなご支援、ご協
力をよろしくお願い申し上げます。

「クレジットカード」「銀行振込」
「ゆうちょ」「現金書留」「ペイパル」
(国際セラピードッグ協会 QR コード)



「中央区ふるさと納税」 からのご寄付

チロリをはじめとするセラピードッグたち
の社会福祉貢献が認められ、一般財団法人 国
際セラピードッグ協会は東京・中央区のふる
さと納税認定団体として、中央区のふるさと
納税(ふるさとチョイス)を通じてご寄付が
出来ます。

「中央区ふるさと納税」
(国際セラピードッグ協会 QR コード)



PC(スマートフォン)は、 URL : <https://therapydog-a.org>
国際セラピードッグ協会ウェブサイトよりアクセスをお願いします。

国際セラピードッグ協会

検索

(一財) 国際セラピードッグ協会 公式 SNS



Youtube
CHIRORI CHANNEL
[チロリチャンネル]



公式 Facebook



instagram
toru_oki_itda



TikTok
CHIRORI FAMILY
[チロリファミリー]



公式 X(エックス)



公式ブログ



Books & Goods

チロリの本は長い間、児童書として日本中の子供達に愛されています。書籍等の売上げの
全ては、救助された捨て犬・被災犬達の医療費とセラピードッグ育成のために寄付されます。

チロリのまなざし
奇跡をおこすセラピードッグ

名犬チロリ
セラピードッグが奇跡をおこす
著者: 大木トオル

Dog Road
川上慎
著者: 大木トオル

児童推薦図書
読書感想文指定図書

いのちを
いっしょに
いっしょに
いっしょに

わがこころの犬たち
著者: 大木トオル

犬と歩けば
著者: 大木トオル

セラピードッグ
の
世界
著者: 大木トオル

名犬チロリ記念切手
名犬チロリ
ピンバッチ

スペシャル
オリンピックス
世界大会
ピンバッチ

命をつなく
セラピードッグ
物語
著者: 大木トオル

『命をつなくセラピードッグ物語』
～名犬チロリとその仲間たち～
講談社



チロリショップよりお求めいただけます。

ブルースシンガー 大木トオルの書籍、写真集、DVD、CD(ソニーレコード、エイベックスレコード、ドリーミュージック)等多数。
大木トオルミュージックグッズの売上げは全て救助された犬達の医療費に寄付されます。

SHOUT
LEGEND OF YELLOW BLUES
DOCUMENTARY

DVD

LEGEND OF YELLOW BLUES
TWO VIRGINS WRITTEN BY TORU OKI

自叙伝「伝説のイエローブルース1,2」

LEGEND OF YELLOW BLUES
LEGEND OF YELLOW BLUES 2

写真集

TORU OKI
SOUL MY BLUES AWAY

「センチメンタルブルースボーイ」
アルバムCD

SENTIMENTAL
BLUES
BOY
TORU OKI

犬とブルース
Sentimental Blues Boy
著者: 大木トオル、小堀明男

読売新聞
[時代の証言者]
連載
『犬とブルース』鳥影社

Youtube
TORU OKI
Official
[大木トオル
オフィシャル]

TORU OKI BEST
LEGEND OF YELLOW BLUES

ベストオブ CDの数々

EYE CONTACT TORU OKI

KING OF THE NEW BLUES
TORU OKI 55th Anniversary

音楽活動55周年ブックレット

FMラジオ

大木トオル ニューヨークブルースナイト

毎月第1土曜日 17:00～18:00 スタジオより生放送
レインボータウンFM (88.5MHz)



大木トオル代表へ エールをいただいた皆様からのメッセージ

人種を問わず彼の歌は心に響きます。
我々の公民権運動にも唯一賛同した東洋人です。
我々黒人達のブルース、そして動物愛護活動において
彼は強いリーダーシップをとっています。
彼こそ私たちのソウルブラザー No.1 なのです。

アメリカを代表する
ソウルシンガー
故 BEN E.KING



私の敬愛する大木トオル先生は、気高い志の動物愛護家であり、
世界各国で絶賛された音楽家でもいらっしゃいます。
また、わが国においては、セラピードッグの育成・普及の
パイオニアであり、捨て犬たち、被災犬たちの救助のために
心血を注ぐ姿は、まことに崇高であります。
私はこの活動を心から称賛し、推薦いたします。

聖路加国際病院 名誉院長
故 日野原 重明



アメリカナイズされた大木トオルさんの情熱的なブルースは、
ブルーノートなどでよく聞いたものです。
そしていつも驚かされるのは、動物に対する深い愛護の精神です。
日本の政治家たちは学ぶべきだと考えます。
そして彼の志は必ず成し遂げられると信じています。

第41代法務大臣
元警視總監
故 秦野 章



当時 70 年代に入っても、動物愛護法がなかったのは、
先進国では日本も含めて二カ国のみでした。
セラピードッグたちを通じ動物愛護と社会福祉の
問題に立ち向かう大木トオルさんは
とても大事な存在です。
この活動に心より敬意を表し応援しています。

元参議院議員
元動物保護審議会委員
日本愛玩動物協会 元会長
故 大鷹淑子(李香蘭)



大木トオル先生のプロデュースで美空ひばりさんの最後の幻の曲
「魂のかけら」を歌わせてもらいました。また韓国で日本人として
初めて動物愛護の講演会に来てくれました。
そして大木トオル先生のおかげで韓国の動物愛護法改正に
多大な影響をもたらし、多くの犬達の命が救われました。

韓国の国民歌手
パティ・キム



Save the Last Lives



命をつなぐ

殺処分ゼロの実現へ

～ 捨て犬たちの命はセラピードッグとして生まれ変わり 私たち人間を支えます ～

みなさまからのご寄付は、捨て犬たちの医療費とセラピードッグ育成のために
大切に使用させていただきます。温かなご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
ご寄付へのご協力には 5つの方法があります。

● インターネット

「クレジットカード」
「ペイパル」によるご寄付

国際
セラピードッグ協会
QRコード



「中央区ふるさと納税」によるご寄付

★ ふるさと納税を通じて助かる命があります。★

国際
セラピードッグ協会
QRコード



東京・中央区の
ふるさと納税(ふるさとチョイス)から
ご寄付いただけます。

PC(スマートフォン)は、国際セラピードッグ協会ウェブサイトより
アクセスをお願いします。 URL: <https://therapydog-a.org>

国際セラピードッグ協会

検索

● 銀行振込

お振込先【銀行】三井住友銀行 銀座支店 普通口座:8321937
口座名義:一般財団法人 国際セラピードッグ協会
(イッパンザイダンホウジン コクサイセラピードッグキョウカイ)

● ゆうちょ

お振込先【郵貯】郵貯口座:00140-9-758345
加入者名:国際セラピードッグ協会育成基金
(コクサイセラピードッグキョウカイクセイキキン)

● 現金書留

当協会人形町オフィスへお送りいただきますようお願いいたします。

送付先 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-3-5 ソレイユ人形町7F
(一財)国際セラピードッグ協会 TEL: 03-6231-0573

● 遺贈

遺贈をお考えの方は当協会 TEL:03-6231-0573 へご連絡をお願いいたします。
殺処分寸前で救助した捨て犬たちがセラピードッグとして社会福祉の現場で活動するとともに、
生涯幸せに明るく元気に過ごせるよう医療とライフケアに最善を尽くしてまいります。



一般財団法人 国際セラピードッグ協会®
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION



一般社団法人 大木動物愛護協会®
OKI AWA: OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-3-5 ソレイユ人形町7F TEL: 03-6231-0573 FAX: 03-6231-0574
Eメール: info@therapydog-a.org ウェブサイト: <https://therapydog-a.org/>

故・名犬チロリから命をつなぐ動物愛護のスピリッツ

殺処分から救い出した犬たちをセラピードッグに育成する活動を通して、
動物と人間の幸せを実現し、「命あるもの幸せになる権利がある」
この想いで社会を変えていきます。



日本初セラピードッグ 名犬チロリ



大木トオル 代表プロフィール

音楽家、一般財団法人 国際セラピードッグ協会 創始者
一般社団法人 大木動物愛護協会 創始者、弘前学院大学客員教授、社会福祉学者(日米)

東京・日本橋人形町生まれ。1976年渡米。全米音楽界で唯一、東洋人ブルースシンガーとして全米ツアーを成功させるなど人種の壁を乗り越えて世界的に活躍し、「ミスターイエローブルース」と称賛される。

そして58年以上にわたる音楽活動と共に、48年以上にわたり動物愛護家として日米の友好・親善に尽くす。独自のセラピードッグ訓練カリキュラムを考案し、殺処分寸前の捨て犬たちを救助しセラピードッグへ育成。そして高齢者施設、障がい者施設、病院、教育の現場などで活動し社会福祉に尽力する。また捨て犬、捨て猫の殺処分廃止の実現のため、動物愛護法の改正に多大な貢献をする。

長年の動物愛護活動、社会福祉貢献に対して数多くの賞を授与される。



一般財団法人 国際セラピードッグ協会®
INTERNATIONAL THERAPY DOG ASSOCIATION



一般社団法人 大木動物愛護協会®
OKI AWA : OKI ANIMAL WELFARE ASSOCIATION

《一般財団法人 国際セラピードッグ協会》 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-3-5 ソレイユ人形町 7F
TEL : 03-6231-0573 FAX : 03-6231-0574 Email : info@therapydog-a.org URL : <https://therapydog-a.org/>

